

令和5年度 晴海中学校 外部評価報告書

評価委員 : 織田幸雄 山口啓朗 宮原一代

報告書作成者 : 宮原一代

評価期間 : 令和6年2月

1 重点目標評価

<重点目標1>

「生徒の学習意欲を高め、確かな学力の定着を目指す教員の授業力の向上」

- 学校評価アンケートの結果から、先生方の意欲や積極性はどの項目でも高い数値であることがわかる。日頃から先生方が生徒に向き合い、熱心に授業や生活指導に取り組んでくれていることに感謝する。
- 同アンケートの結果で、指導計画を作成して学習効果を高める指導の工夫をしているという点を、非常に多くの生徒と保護者が認めている。生徒の学習状況や生活の様子を把握し、生徒それぞれに合った指導計画を立ててくれているからこそ、このような結果が出ているのだと思う。
- 質問教室や夏季補充教室を実施していただいて、助かっている生徒がたくさんいると思う。学習が苦手な生徒や、思うように結果が出ない生徒はどこの学校にもいると思うので、そのような生徒たちを取りこぼさないような工夫を今後とも継続的に実施してほしい。
- 学校アンケートの結果では、家庭学習の習慣が身につけていないと感じる保護者が比較的多いように思う。ICTを活用したドリルなど、家庭で積極的に取り組めるようなものがあるとよい。

<重点目標2>

「生徒の活躍の場を意図的に増やし、生徒を鍛え、充実した3年間を過ごす」

- 生徒たちは、運動会や合唱コンクールなどの行事に全力で取り組んでいた。先生方が工夫を凝らして企画してくれたおかげであると思う。合唱コンクールでの先生方のサプライズ企画の合唱と演奏も大変好評だった。
- 11月の地域防災拠点訓練では、近隣の小学校や地域と連携して、多くの人に参加して良い経験になった。中学生でも、災害時に活躍できることを生徒たち自身も自覚したと思う。地域の方々も、中学生と交流して頼りになる存在であることを実感したと思う。

2 本校の取組についての意見

○学校アンケートでは、地域の行事やボランティア活動などに積極的に参加していないと思う保護者が多いようだが、生徒たちは、よくやっていると思う。東京消防庁の出初め式やボランティア清掃などに参加していることを保護者に知らせる工夫があるとよいと思う。

○授業は計画的に実施されていてよいと思う。時代とともに教え方もだいぶ変わってきていると思うが、先生方には引き続きアンテナを高く持って、新しい情報を取り入れながら生徒たちの興味を引きつける授業を継続して実施してほしい。

○PTA活動に多くの先生方や保護者が参加してくれてうれしい。PTAソフトバレーボール大会四中杯優勝、PTAソフトボール大会でも中央区優勝を成し遂げた。晴海中学校が保護者を巻き込んで取り組んだ成果だと思う。学校、家庭、地域が協力し、ともに生徒の教育に関わっていくきっかけになると思う。